

平成28年度理事会（総会）議事録

日時：平成28年1月17日（日） 13時～16時

場所：クーポール会館 7階会議室

出席者：67名 委任状：8通 オブザーバー：8名 来賓（メーカー）2名

高木会長あいさつ

新年おめでとうございます。本年もよろしく協力をお願いします。国体では、久しぶりに成年男子がベスト8という成績を残してくれました。県体協は国体1本に絞って評価をしているので、今後とも頑張ることを期待しています。

1. 提案案件（落合理事長）

磐田ソフトテニス協会の退会および磐田市ソフトテニス協会の新規加盟について提案

- ・行政の合併により2団体が存在していたが、双方に対し合意ができたため、今回磐田ソフトテニス協会の脱会と磐田市ソフトテニス協会の新規加盟を提案し、全会一致で承認した。

【質疑】退会と、新規加盟であれば、理事数・年会費を決定しなければならないがどうか。（村中裕常任理事）

【結論】理事数・年会費は、退会の磐田協会と同数の「理事総数2（うち常任理事1）、年会費30,000円」とする。

- ・磐田市ソフトテニス協会の田中事務局長あいさつ

市町合併により平成18年3月に設立した。今後ともよろしくお願いします。

2. 平成27年度事業報告（落合理事長）

理事会資料に基づき平成27年度事業報告全般を説明した。

- ・県連主催の大会の内、雨により県地区対抗戦のみ途中中止となった。
- ・東海選手権大会においては、開催地の浜松市協会に大変お世話になった。
- ・韓国との国際親善交流会を開催した。参加いただいた皆様には、会費を含め大変お世話になった。

各委員会からの報告

(1) 競技委員会からの報告（漆畑委員長）

平成27年度第1回常任理事会で県地区対抗戦について要望があり、競技委員会で検討した結果、次のように次回から実施する。

- ① 3ペア確保できない場合、合同の参加を「可」とする。
- ② シニア女子65の新設を「可」とする。
- ③ 参加料6,000円を下げることを「否」とする。
- ④ 賞品を出すことについて「否」とする。

資料「第64回静岡県地区対抗ソフトテニス大会 開催要項」のとおり。

(2) 強化委員会からの報告（伊藤均委員長）

- ・国体では、成年男子が、ベスト8の成績を残した。選手をはじめ、監督、主務、コーチにお礼申し上げる。トレーナーを昨年度からお願いしたが、パフォーマンスが上がり非常に助かった。今後は、選手とのコミュニケーションの必要性からも、強化練習にも来ていただけるよう検討したい。国体選手は5名編成であるが、練習環境の問題から、今後は6名帯同としたい。
- ・昨年度より「オール静岡」強化練習会をカテゴリーを越えた中で実施した。

(3) 審判委員会からの報告（伊藤公委員長）

- ・ 27年度審判員制度に関する事業については、理事会資料記載のとおりである。なお、1月23、24日に開催される1級審判員検定会には、5名参加予定である。
今後の2級審判員検定会及び研修会は、すでにご案内のとおり、1月31日に浜松、2月7日に静岡、2月21日に沼津で開催する。なお、4月中旬に主に大学新卒者を対象とした2級審判員検定会を開催予定である。
- ・ 昨年12月から、愛知県豊田市のスカイホール豊田において日本リーグが開催され、2名の審判員の派遣依頼があり、掛川の中山氏と静岡の漆畑氏に出席いただいたが、次回からは、実業団チームを中心に、東部→中部→西部の順で審判員を派遣することにした。なお、愛知県連からの日当3000円に加え、県連からも3000円の日当を支給することとした。

(4) 指導者育成プログラム推進委員会からの報告（足立委員長）

- ・ 公認スポーツ指導員研修会の開催について、2月13日、14日にヨネックス指導スタッフを招いて、西ヶ谷テニスコートで開催を予定している。なお、今回からスポーツ指導員の資格のない方も参加できるよう配慮した。
- ・ 28年度は、公認スポーツ指導員資格取得講習会を開催する。4月中には正式案内を発送する予定である。
- ・ 地域スポーツ指導者連絡協議会の役員改選に伴い、県連盟より派遣する役員を次のとおり決めた。副会長：足立真一、中部支部長：前島正義、西部副支部長：及川隆悦、監事：梅本早苗（役職は予定）

(5) 国際交流委員会からの報告（岩本委員長）

- ・ 韓国永同郡親善交流団40名を迎えて9月3日から7日に富士宮市・静岡市で実施し、会員の皆様のご協力により韓国の皆様には大変満足していただいた。
- ・ 28年度は、10月下旬に台湾訪問を計画しているので多くの方のご参加をお願いしたい。

(6) レディース委員会からの報告（片山委員長）

27年度の実績は理事会資料による。1月24日に静岡市中央体育館において、レディース中央研修会を開催する。講師は後藤終子氏の予定。また、毎月1回練習会を開催している。

(7) 高校生委員会からの報告（高橋委員長）

国体選考とStepを結び付け、県連と連携を取り実施している。

(8) 中学生委員会からの報告（小野委員長）

県中学選手権の協会別参加枠数（資料）のとおり見直しを図った。

(9) 小学生委員会からの報告（渡瀬委員長）

- ・ 昨年度は、全日本小学生団体男子3位、東海小学生団体男女優勝など、良い成績を収めた。
- ・ 全国小学生大会で選手のマナーについて問題があった。西日本小学生大会はマナーについて非常に厳しかった。皆さんにおいても留意願いたい。
- ・ 平成31、32、33年に西日本小学生大会を伊東市小室山テニスコートで開催する。27県1500名程度の選手・関係者が集まる。今後開催に向けて体制作りをしていく。

(10) 指導基本規定違反救済申立処理委員会からの報告（小林委員長）

4月25日に委員会を開催し、特に問題事項の報告はなかった。

(11) シニア委員会からの報告（杉山委員長）

県シニア選手権大会、近県成年・シニア静岡大会を予定どおり開催した。また、全国、東海で中島・枝村ペアをはじめ若手シニアが上位入賞し活躍した。

総括として落合理事長より、「県選手権大会の種別毎の参加者を2桁にしたい。」また、「指導される方には選手にマナーをご指導いただきたい。」と要請があった。

3. 平成27年度収支決算報告(落合理事長)

理事会資料「平成27年度収支決算書」により、予算と決算の差額が多い項目を中心に説明をした。

- <主な増減>
- ・県インドア選手権が会場使用不可となり中止となった。
 - ・指導者講習会関係収入予算を計上しなかったが、参加料を収入処理した。
 - ・次期繰越金は約48万円増加した。

4. 平成27年度収支決算監査報告(榛葉監事)

12月13日に掛川の「さんりーな」にて監査を実施した。監査結果について、会計処理は適切に処理されているとの報告があった。

【理事会資料追加・訂正事項】

平成27年度大会記録

- <追加> : 第70回東日本選手権大会 成年女子 8本 黒瀬・折笠 (オランダ・沼津グリーン)
- <訂正> : 第69回静岡県選手権大会 成年女子 2位 → 3位 村松・宮田
3位 → 2位 黒瀬・折笠

<事業報告、収支決算報告について、承認した。>

5. 報告事項

(1) 日本連盟平成27年度臨時評議員会議の報告(落合理事長)

- ・日本ソフトテニス連盟の主な事業計画を理事会資料により説明。

「議決事項」の平成27年度補正予算、28年度事業計画および収支予算、大会要領の改訂について審議し、原案どおり承認された。

※大会要領改定

- ・28年度国民体育大会岩手大会の参加チーム数
東海ブロック…成年男子1チーム、少年男子1チーム、少年女子2チーム
(成年女子ストレート)
- ・全日本シニア選手権大会…28年度の熊本大会から混合70を追加する。
- ・全日本シングルス選手権大会…優勝者を本年度開催の第8回アジア選手権大会の日本代表選手に選出する。
- ・映画「案山子とラケット」の非劇場公開について
公民館、体育館などを利用して実施する。実施希望があれば日本連盟事務局へ連絡。
映画会社が、技師、フィルムを含め、30万円で実施する。(当日券 大人1500円、子供1000円)
- ・全国高体連から32年度インターハイ開催について、北関東がオリンピックとの関係で、19種目について開催不能。北関東・東京を除く道府県で開催を検討してもらいたいとの要望があった。

(2) 東日本連盟総会報告

「議決事項」の平成27年度事業報告、収支報告および28年度事業計画、収支予算について審議し、原案どおり承認された。

- ・シニア80を新たに加えることと、ウェアの特例として「スパッツ」は膝から下に出ても認める。

(3) 東海連盟報告

- ・全日本社会人選手権大会(平成30年開催)および全日本選手権大会(平成31年開催)が東海連盟の主管となるため開催県の調整を行い、全日本選手権大会は、三重国体(平成33年開催)

のリハーサルとして三重県で開催することになった。全日本社会人選手権大会（平成30年開催）は、コート面数が多いこと、他の全国大会の関係で、静岡県で開催してもらいたいとの要請があり引き受けたいと思うがどうか。 <全会一致で承認した。>

《今後の静岡県開催の主要大会》	平成30年	全日本社会人選手権大会
	平成31年	東日本選手権大会（予定）
	平成31～33年	西日本小学生選手権大会

6. 平成28年度県連盟事業計画（案）提案（落合理事長）

- ・理事会資料により静岡県ソフトテニス連盟の事業計画を説明した。
- ・ダンロップカップを「スリクソンカップ」に名称変更する。
- ・高体連は、未決定行事が多いため、後日連絡するまで大会・行事予定表はオープンにしない。
- ・大会・行事予定表に変更ある場合は、県連事務局まで連絡する。

7. 平成28年度収支予算（案）提案（落合理事長）

理事会資料により平成28年度収支予算案の概要を説明した。

<概要>

- ・収入・支出予算は、27年度の実績をもとに計上した。
- ・県地区対抗の参加料を要項改定により参加増を見込んだ。
- ・日本スポーツツマスタース補助金が、10万円から15万円に増額された。
- ・国民体育大会の本大会派遣費を2種別の参加と選手1名増の6名で見込み計上した。
- ・事務所開設準備費を計上した。（現在の候補物件…県体協2階会議室 5万円/月）
事務所開設については、昼間しか連絡が取れないと支障がある、事務局長がやりやすいように、他県
の状況は？などの意見・質問が出たが、9月の常任理事会で再検討することとした。

8. 副事局長の交代について、

退任…三津山克利（中部電力） 新任…漆畑勝之（橘クラブ）連絡先は、別途案内する。

<事業計画（案）、収支予算（案）、副事務局長の変更について、承認した。>

9. その他質疑等

・天野常任理事

焼津で中学ソフトテニス部の廃部がある。他協会の対応を聞きたい。

足立副会長 → 少子化により、クラスが減れば教員が減る、教員が減ると顧問が減る、顧問が減ると部活数が減る。避けられない事実である。複数校での活動など、広域で助け合うしか方法がない。

・杉山副理事長

各地区で実施しているStep1の県連からの補助金は10万円であるが、不足している。補助金増ができないか。

落合理事長 → 真に不足する場合は、個別に審査し補助します。

・天野常任理事

中部地区連絡協議会に補助金が支給されているのか確認したい。

落合理事長 → 中部連絡協議会の会長は市川博県連副会長であり、中部へ確認してください。

閉会挨拶（岩本副会長）

長時間にわたり、ご協議ありがとうございました。意見があれば活発に議論をし、決まったことは、みんなで協力していきたい。

理事会終了後、27年度の功労者、優良団体、ランキング、優秀選手、優秀団体等の表彰を行った。